

寅さん歩 その22

東京2020 聖火リレー-6

～高知県・愛媛県・大分県・
宮崎県・鹿児島県・沖縄県～



写真右上は東京2020オリンピックの聖火リレーのトーチを掲げる平野寅次郎こと平野武宏です。全国のウォーキング大会を映画「男はつらいよ」の寅さんのように歩き回ったので妻の友人から「平野寅次郎」と命名され、ペンネームとしています。写真は都庁でのトーチ公開時に撮影しました。パラリンピックのトーチも色違いであります。

東京2020大会の聖火は2020年3月26日に福島県をスタートし、移動日を含む121日をかけて47都道府県を回り、7月24日の開会式会場に到着します。

なお、2019年11月30日に完成した「新国立競技場」は2019年12月15日の竣工を終え、「国立競技場」と呼ばれます。

寅次郎、八柳修之さん作成の「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場へ聖火を運ぶ（仮想コース）」を行い、通過した都道府県の寅次郎のウォークの思い出と映画「男はつらいよ」で寅さんの恋の記録をお話ししました。

映画「男はつらいよ」は第1作の公開[1969年(昭和44年)8月27日]から50周年となり、記念して2019年(令和元年)12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」が公開されました。寅さん役の渥美清さんは1996年(平成8年)に亡くなっていますが、今までの作品の寅さんが技術を駆使して登場とのこと。

「寅さん歩」も映画の50周年を祝って一足早く全国の聖火リレーのコースを紹介しながら、前回のバーチャルウォークで通過しなかった道県での寅次郎のウォークの思い出と寅さんの恋をお話したいと思います。各県名の脇の月日は実際に聖火リレーが行われる月日で、コースはスタートとゴールの予定地です。なお、2019年12月17日聖火リレーの詳細が発表されました。

〔高知県〕 2020年4月20日～21日

聖火リレーコースは4月20日 高知市～宿毛市、21日 南国市～高知市です。

寅次郎、2006年(平成18年)3月「第2回土佐よさこいツーデーウォーク黒潮大会」で安芸市を訪問しています。高知は坂本龍馬(写真右)

のふるさとです。寅次郎は龍馬と同じ誕生日(暗殺日)という因縁の仲で、とても他人とは思えない間柄です。

高知龍馬空港は羽田から約70分です。飛行機の遅れで空港からの接続がなく、ウォーカーとの相乗りのタクシー6300円で安芸(高知と室戸の間)へ向かいました。

宿は前日まで阪神タイガースの二軍が利用していたとのこと。一人旅ですが、宿では全国大会で知り合った歩く仲間達と再会です。



1日目は香南市夜須町ヤ・シーパークがスタート、太平洋を眺めながら琴が浜がゴール。龍馬が「心はいつも太平洋ぜよ!」と言った蒼い大海原を眺めながら、春風の中を歩く、まさにウォーキングの醍醐味です。多くの園芸ハウスが点在し、「ピーマンもっていきんしゃい!」と声を掛けられ、いただきました。ゴール会場では太平洋をバックに「夜須まるごとバイキング」の昼食はグッドアイディア。とれたて鮮魚とフレッシュ野菜、おもてなしのお母さん達の料理も並びおかわり自由。特にナスのたたき、シーラのジャンジャン焼、夜須ぐる煮、フルーツきんとんが美味しかったです。近くの和食(わじき)駅から安芸に戻る「土佐くろしお鉄道」の切符は食堂整理券と同じで「和食」と印刷で大笑い。宿の夕食では分厚い「カツオのたたき」が出たのは言うまでもありません。

2日目は前日と同じスタート会場から海岸線のサイクリングロードを安芸まで歩きました。童謡の郷(作曲家 弘田龍太郎の出身地)、山内一豊の家老 五藤吉兵衛のゆかりの地を歩き、前日のゴールの琴が浜を上から眺めました。

昼食の「安芸朝どれ じゃこ丼」は板の上に干してあるじゃこを好きなだけスプーンですくい、ご飯の上に乗せ大根おろし・のり・柚子ポン酢をかけ豪快に食べます。苺のようなフルーツトマトも美味しかったです。満腹で残り5Kmは武家屋敷の面影が残るふるさと地区を歩きました。110年前の米国製白亜の櫓時計の12時の時報を聞きました。三菱グループ創始者の岩崎弥太郎の生家も近くにありました。ゴール後は「土佐くろしお鉄道」で高知市に出て、坂本龍馬記念館を訪ね、龍馬から「まっことよう来たねえ!」と土佐弁(録音)で迎えられて、大満足の寅次郎です。

映画の寅さん、四国の3県には行っているのに意外にも高知県には足を踏み入れていません。地元の熱烈な誘致の末、第49作「寅次郎 花へんろ」の制作で決まった高知ロケが、渥美清さんの死去で幻となってしまいました。

聖火は愛媛県へ引き継がれます。

〔愛媛県〕 2020年4月22日～23日

聖火リレーコースは4月22日 四国中央市～松山市、23日 砥部町～八幡浜市です。

寅次郎、2004年（平成16年）10月開催の「第4回しまなみ海道スリーデーマーチ」で広島県尾道から愛知県今治まで島伝いに歩きました。

1日目の尾道～生口島瀬戸田町は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー9」をご参照ください。

2日目は生口島瀬戸田町から世界一の斜張橋の多々羅大橋を渡り鎌倉時代から南北朝時代の歴史上の武将達が訪れた神の島 大三島、塩で有名な伯方島までの20Kmコースです。ゴールでは塩のプレゼント。宿は島の民宿出回りの店が早く閉まり、早々に寝ました。

3日目は伯方島から四国全土に見立てた島八十八か所めぐりのある大島、村上水軍と石文化の宮窪町から日本三大急潮に架かる世界初の三連吊り橋で島々を結ぶ6.2Kmの来島海峡大橋（写真右）を約1時間かけて歩き、タオルの町 今治へ到着。ゴールは海岸平城の今治城です。六島六橋を歩き瀬戸内海を制覇した達成感がありました。今治からは夜行高速バスで寝ている間に東京に着きました



映画の寅さん、1977年（昭和52年）8月公開の第19作「男はつらいよ 寅次郎と殿様」で大洲に登場しています。甥の満男の節句のお祝いに寅さん、小さなこいのぼりを旅の土産に持って帰りますが、喧嘩になり、また旅に出ます。旅先の同宿の女性に鮎をおごり、大散財の寅さん、財布に残った500円札を風で飛ばされ、拾った老人にまたおごります。老人は勘当して急死した息子の嫁 鞠子（真野響子）を探す大洲藩18代目の殿様です。寅さん、柴又に戻り鞠子を探しますが1日で疲れ果てます。旅先で会った女性が鞠子と分かり、とらやで殿様に引き合わせます。殿様からの礼状は「寅さんを鞠子の伴侶に希望」。すっかりその気になる寅さんですが、鞠子から再婚話



を打ち明けられがっかり、大洲を再び訪れますが、殿様に気に入られ、帰してもらえず、帰れないと大騒ぎする寅さんの姿で幕。

聖火は大分県へ引き継がれます。

〔大分県〕 2020年4月24日～25日

聖火リレーコースは4月24日 別府市～日田市、25日 玖珠町～大分市です。大分県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-5」と「-6」をご参照ください。

聖火は宮崎県に引き継がれます。

〔宮崎県〕 2020年4月26日～27日

聖火リレーコースは4月26日 高千穂町～宮崎市、27日 宮崎市～えびの市です。

宮崎県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-3」と「-4」をご参照ください。

聖火は鹿児島県に引き継がれます。

〔鹿児島県〕 2020年4月28日～29日

聖火リレーコースは4月28日 志布志市～鹿児島市、途中で奄美市も通過します。29日 出水市～指宿市、途中で西之表市も通過します。

鹿児島県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-2」をご参照ください。

聖火は沖縄県に引き継がれます。

〔沖縄県〕 2020年5月2日～3日

聖火リレーコースは5月2日 那覇市～名護市、途中で石垣市も通過します。3日 豊多城市～糸満市、途中で宮古島市も通過します。

沖縄県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-1」をご参照ください。

聖火は熊本県へ引き継がれます。

平野 寅次郎 拝